

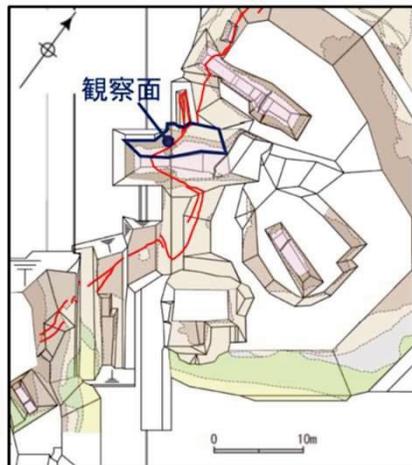
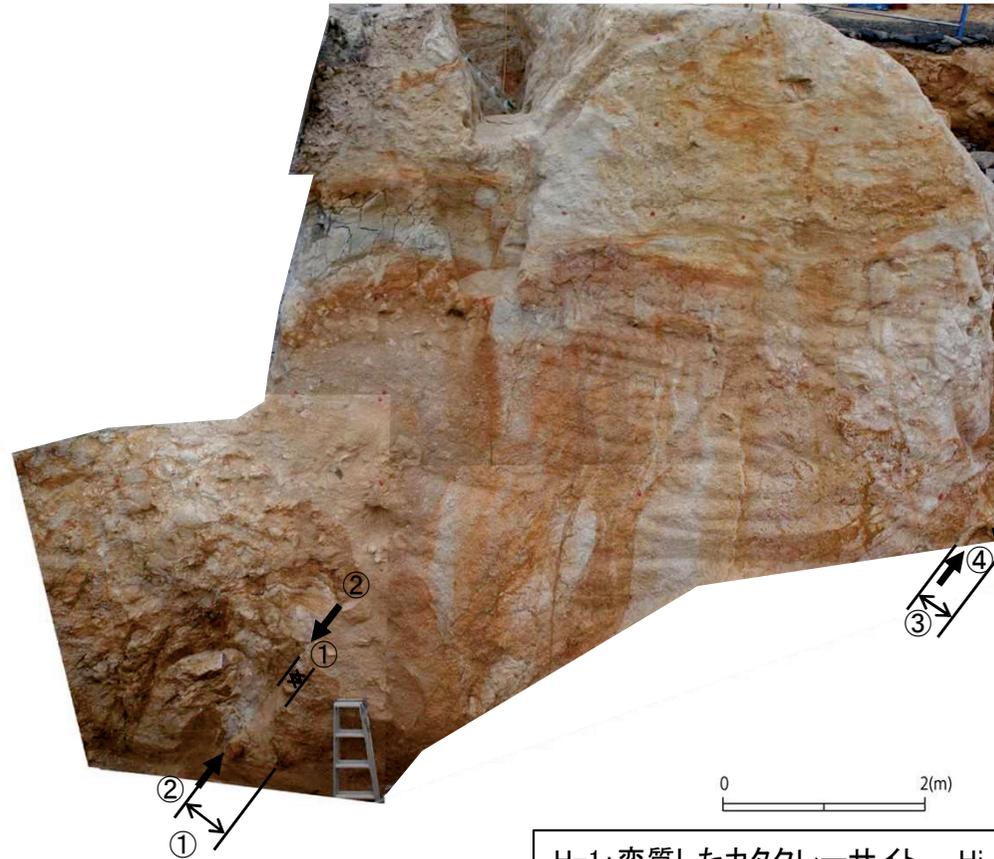
K断層 破碎部性状 D-1トレンチ1-1ピット北面(肉眼観察による断層岩区分(3/4))

- ・区間③に対応する「Hj」との記載については、シルト質砂状を呈するものである。やや軟質であるが、含まれる細粒部は網目状に分布し、連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められる。これらのことから変質したカタクレサイトであると判断した。

1-1ピット北面写真

WSW←

→ENE



調査位置図

- H-1: 変質したカタクレサイト. Hj
- ・シルト質砂状. 幅3~15cm.
- ・原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は認められる。

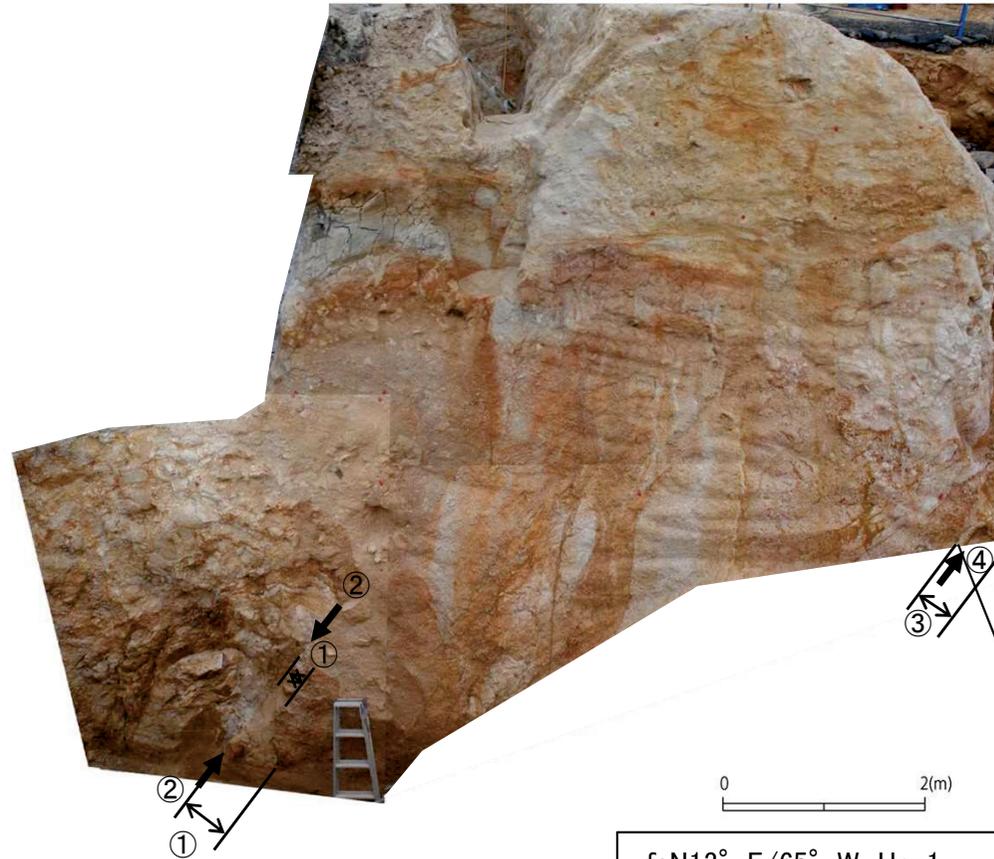
K断層 破碎部性状 D-1トレンチ1-1ピット北面(肉眼観察による断層岩区分(4/4))

- ・区間④に対応する「Hc-1」との記載については、粘土状を呈するものである。軟質であり、細粒部の連続性及び直線性が良く、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。
これらのことから断層ガウジであると判断した。

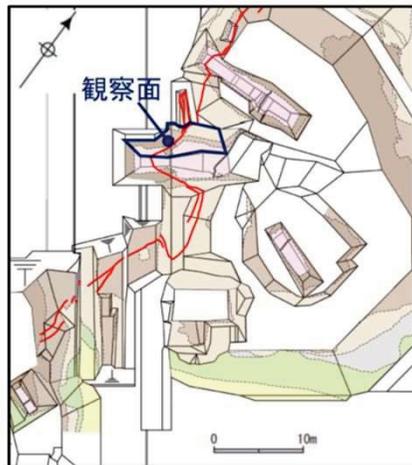
1-1ピット北面写真

WSW←

→ENE



- S-1: 断層ガウジ.
Hc-1
- ・粘土. 幅2~15mm.
 - ・橙色(7.5YR6/6).
 - ・軟質.
 - ・直線的.
 - ・原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は認められない。



調査位置図

0 2(m)

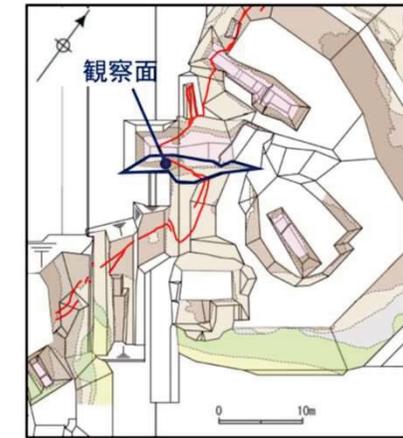
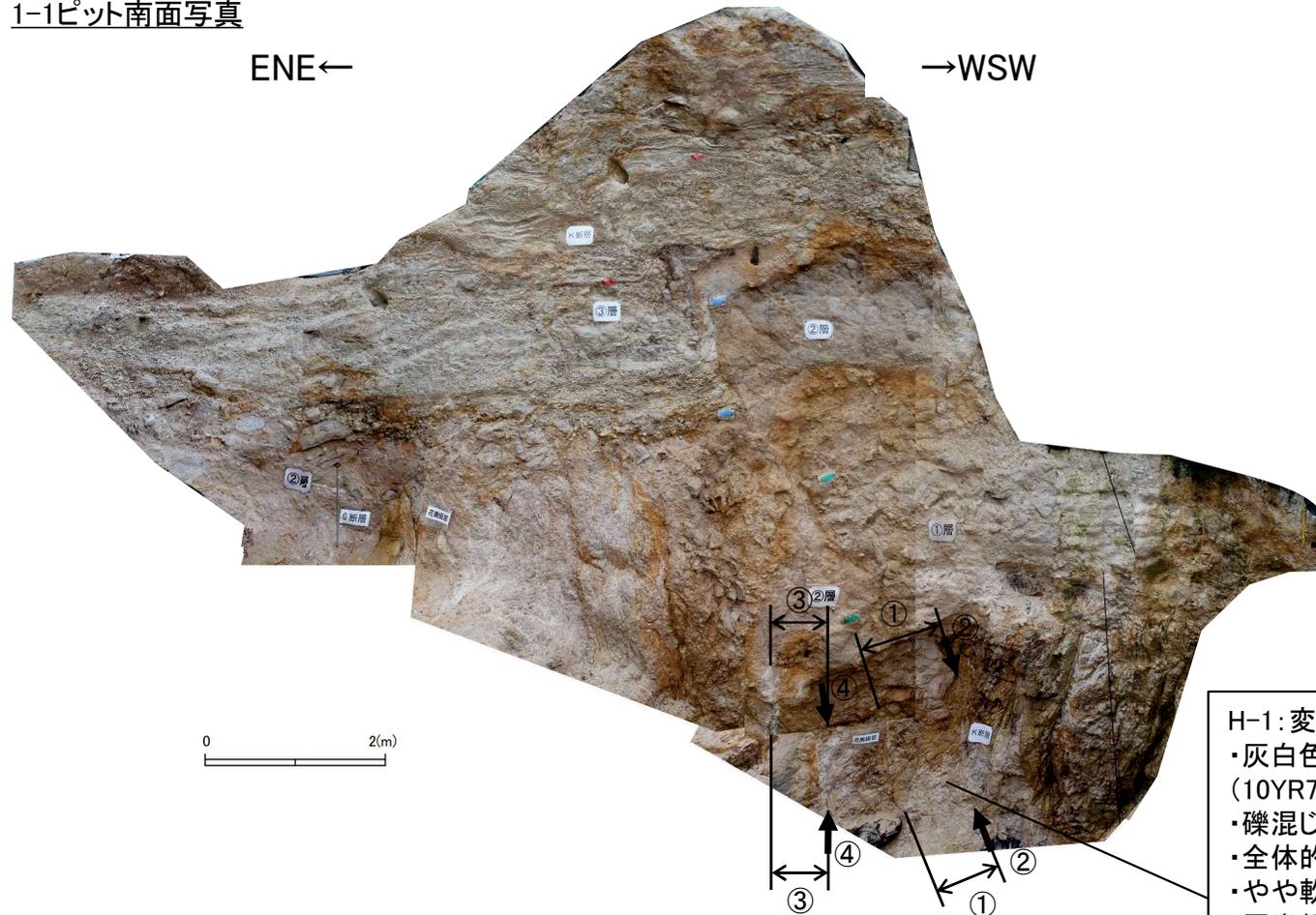
- f: N13° E/65° W Hc-1
- ・橙色粘土. 幅~15mm.
 - ・断層ガウジ. 軟質. 直線的.
 - ・原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は認められない。

D-1トレンチ1-1ピット南面

K断層 破碎部性状 D-1トレンチ1-1ピット南面(肉眼観察による断層岩区分(1/4))

・区間①に対応する「Hj」との記載については、礫混りシルト質砂状を呈するものである。やや軟質であるが、含まれる細粒部は網目状に分布し、連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められる。これらのことから変質したカタクレーサイトであると判断した。

1-1ピット南面写真



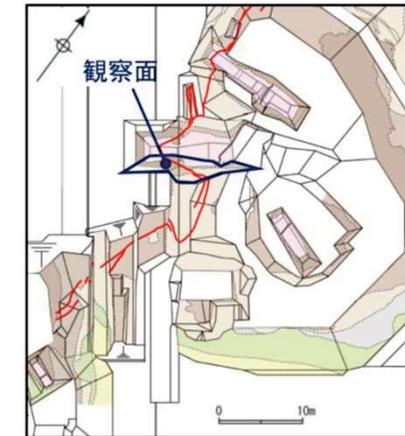
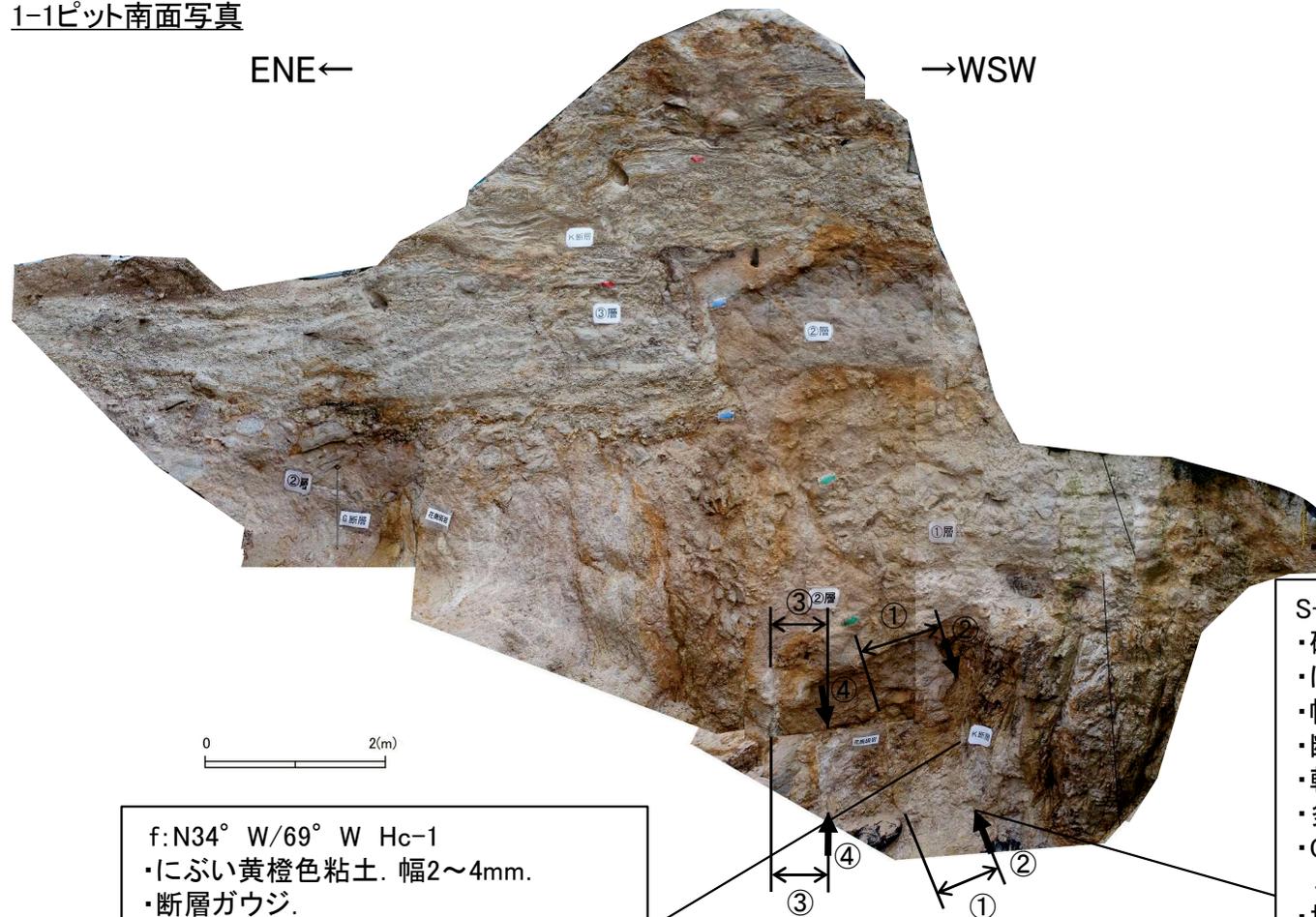
調査位置図

H-1: 変質したカタクレーサイト. Hj
 ・灰白色 (7.5YR8/2). にぶい黄橙色 (10YR7/3). 橙色 (7.5YR7/6).
 ・礫混りシルト質砂状.
 ・全体的に変質を受け脱色.
 ・やや軟質である.
 ・原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織はわずかに認められる.
 ・細粒部は網目状に分布する.

K断層 破碎部性状 D-1トレンチ1-1ピット南面(肉眼観察による断層岩区分(2/4))

・区間②に対応する「Hc-1」との記載については、砂混り粘土状を呈するものである。軟質であり、細粒部はやや湾曲するものの堆積物を含む全ての構造を切って連続し、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。これらのことから断層ガウジであると判断した。

1-1ピット南面写真



調査位置図

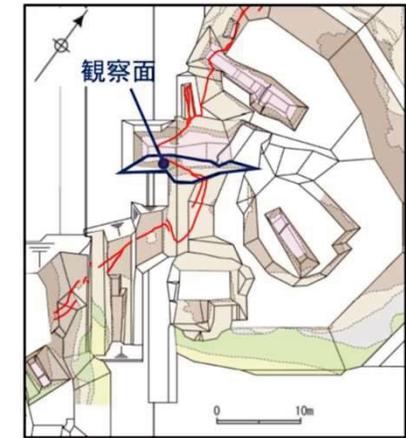
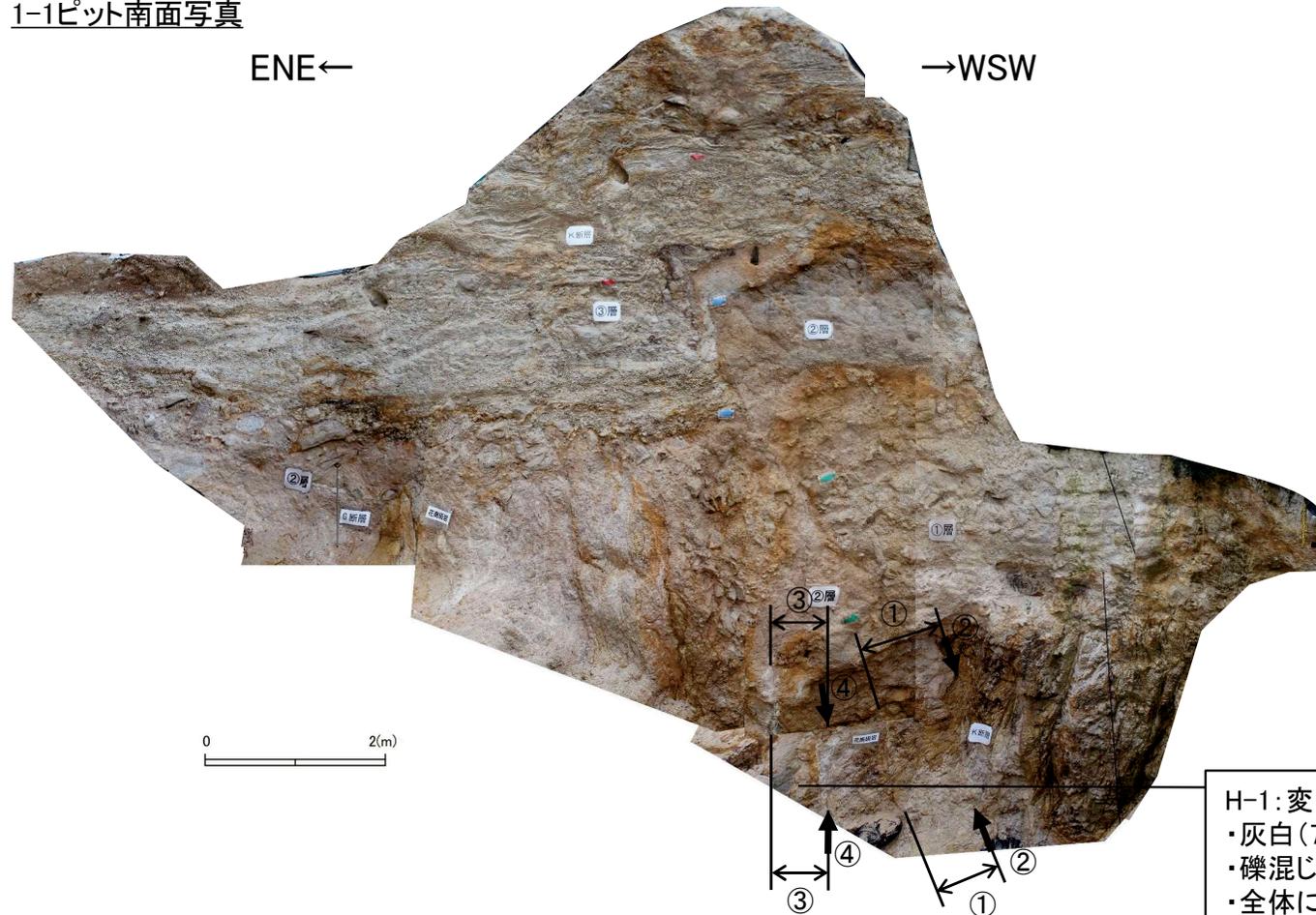
f: N34° W/69° W Hc-1
 ・にぶい黄橙色粘土. 幅2~4mm.
 ・断層ガウジ.
 ・多少湾曲するが、直線的.
 ・軟質である. 条線62° R
 ・原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は認められない。

S-1: せん断面. Hc-1
 ・砂混り粘土状.
 ・にぶい橙色 (7.5YR7/3).
 ・幅2~20mm (代表的な幅: 8mm).
 ・断層ガウジ.
 ・軟質である.
 ・多少湾曲する.
 ・Gpから①層へ連続し、Gpと①層の境界に変位を与える.
 ・堆積物を含む全ての構造を切っており、細粒部を伴う.
 ・原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は認められない。

K断層 破碎部性状 D-1トレンチ1-1ピット南面(肉眼観察による断層岩区分(3/4))

・区間③に対応する「Hj」との記載については、砂質シルト状を呈するものである。やや軟質であるが、含まれる細粒部は網目状に分布し、連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められる。これらのことから変質したカタクレーサイトであると判断した。

1-1ピット南面写真



調査位置図

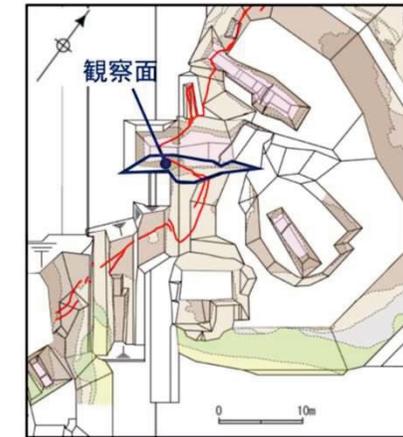
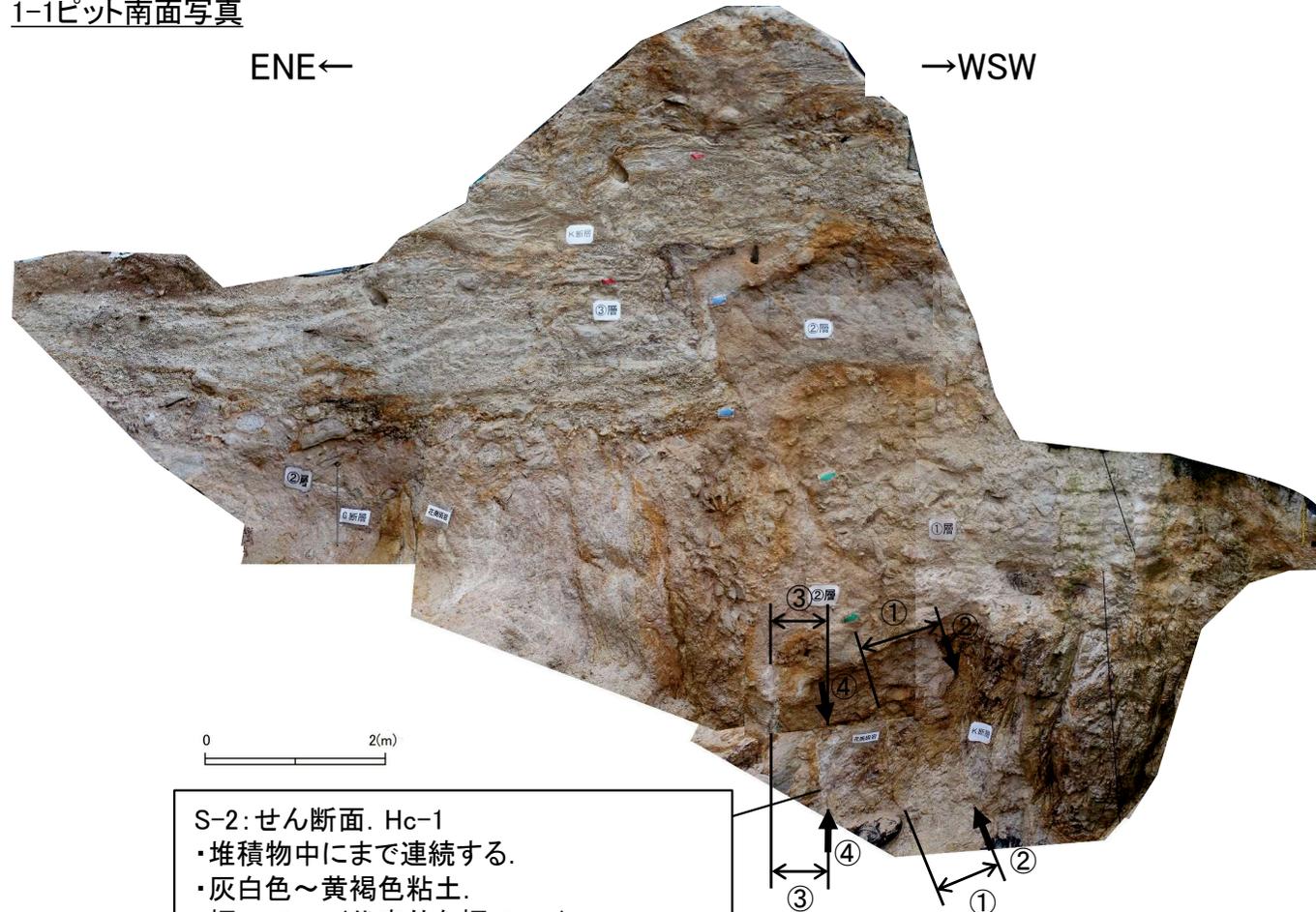
H-1: 変質したカタクレーサイト. Hj

- ・灰白(7.5YR8/1)
- ・礫混じりシルト質砂状
- ・全体に変質を受けて脱色
- ・やや軟質である。
- ・原岩組織が認められる岩片を主体とし、
基質も細粒化した岩片からなる組織は認められる。

K断層 破碎部性状 D-1トレンチ1-1ピット南面(肉眼観察による断層岩区分(4/4))

・区間④に対応する「Hc-1」との記載については、粘土状を呈するものである。軟質であり、細粒部の連続性及び直線性が良く、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。
これらのことから断層ガウジであると判断した。

1-1ピット南面写真



調査位置図

- S-2: せん断面. Hc-1
- ・堆積物中にまで連続する.
 - ・灰白色～黄褐色粘土.
 - ・幅1～8mm(代表的な幅:8mm).
 - ・断層ガウジ.
 - ・軟質である.
 - ・直線的に分布
 - ・原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は認められない.

D-1トレンチ1-1ピット底盤

K断層 破碎部性状 D-1トレンチ1-1ピット底盤(肉眼観察による断層岩区分(2/4))

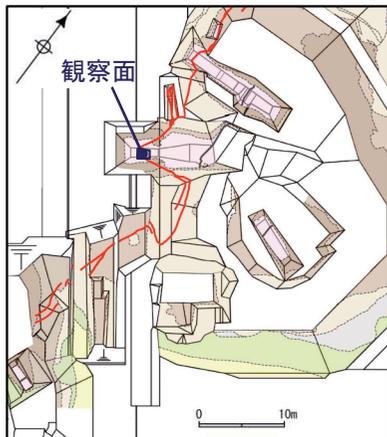
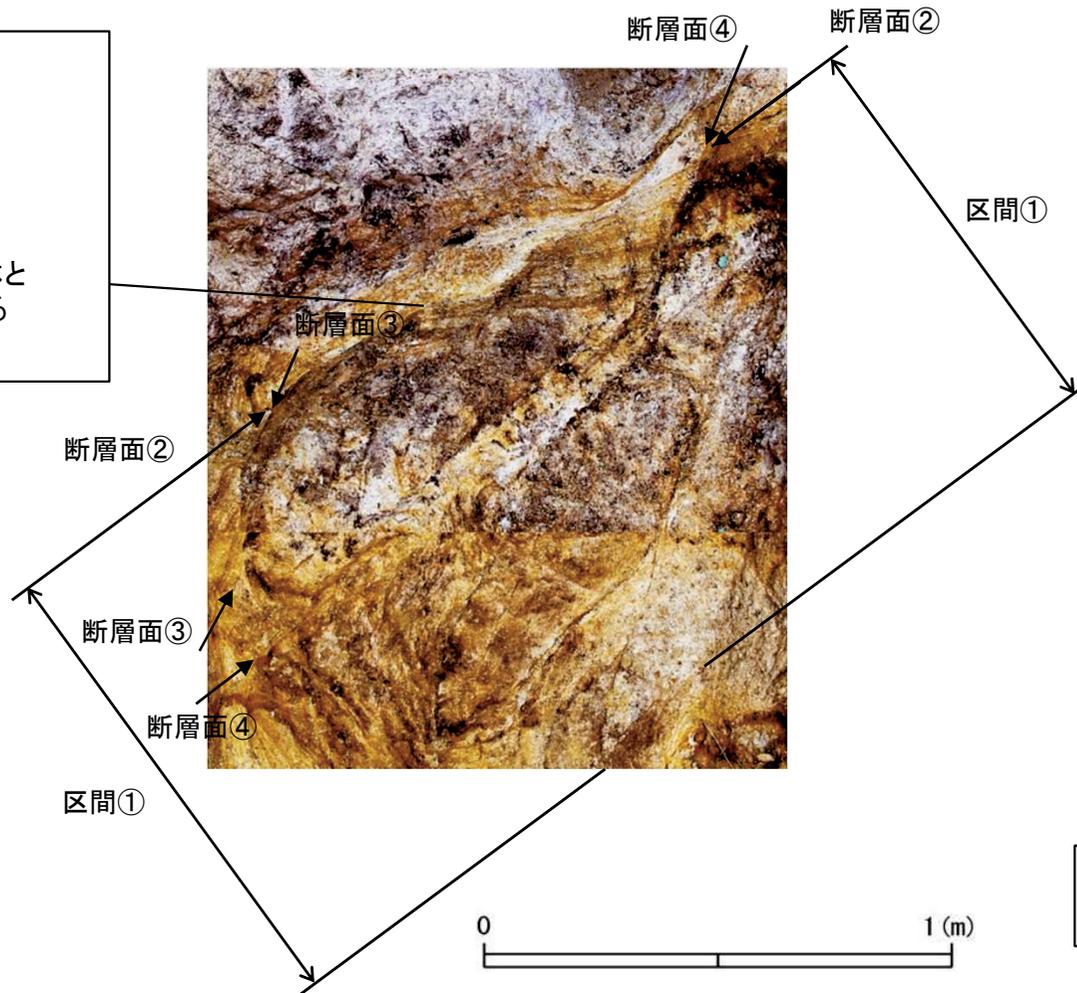
・断層面②に対応する「Hc-1」との記載については、粘土状を呈するものである。軟質であり、含まれる細粒部は底盤を横断して直線的に連続し、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。これらのことから断層ガウジであると判断した。

1-1ピット底盤写真

SSE←

→NNW

S-1:せん断面. Hc-1
 ・灰白色粘土.
 ・幅1~30mm
 ・断層ガウジ
 ・底盤を横断し、直線的に連続する。
 ・軟質である。
 ・原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は認められない。



調査位置図

K断層 破碎部性状 D-1トレンチ1-1ピット底盤(肉眼観察による断層岩区分(3/4))

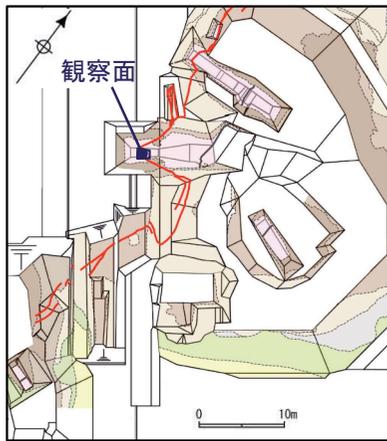
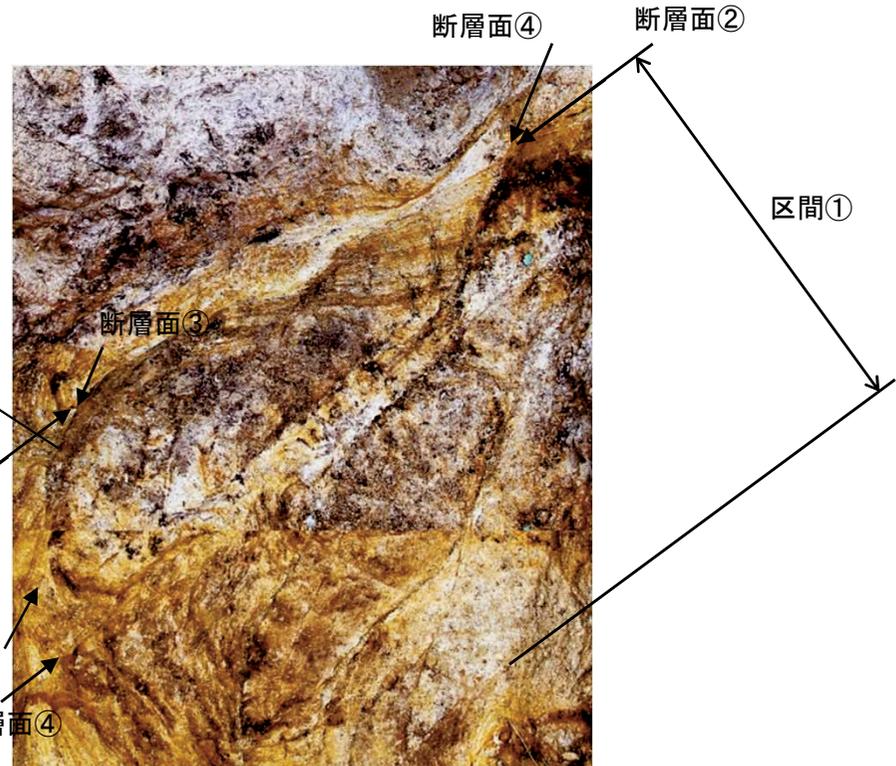
・断層面③に対応する「Hc-1」との記載については、粘土状を呈するものである。軟質であり、含まれる細粒部は直線的に連続し、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。これらのことから断層ガウジであると判断した。

1-1ピット底盤写真

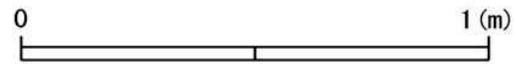
SSE←

→NNW

S-2:せん断面. Hc-1
 ・にぶい黄橙粘土.
 ・幅3~4mm(代表的な幅:4mm)
 ・断層ガウジ
 ・軟質である.
 ・直線的に連続する.
 ・原岩組織が認められる岩片を主体とし、
 基質も細粒化した岩片からなる組織は認められない。



調査位置図



凡例
 ↓
 断層面

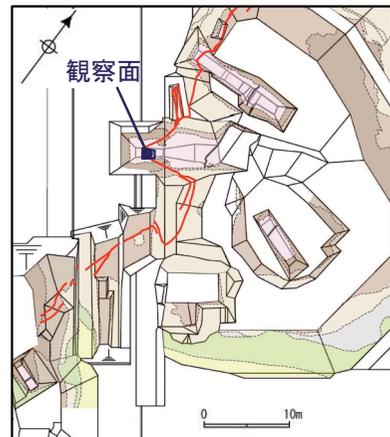
K断層 破碎部性状 D-1トレンチ1-1ピット底盤(肉眼観察による断層岩区分(4/4))

・断層面④に対応する「Hc-1」との記載については、粘土状を呈するものである。軟質であり、含まれる細粒部は直線的に連続し、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織も認められない。これらのことから断層ガウジであると判断した。

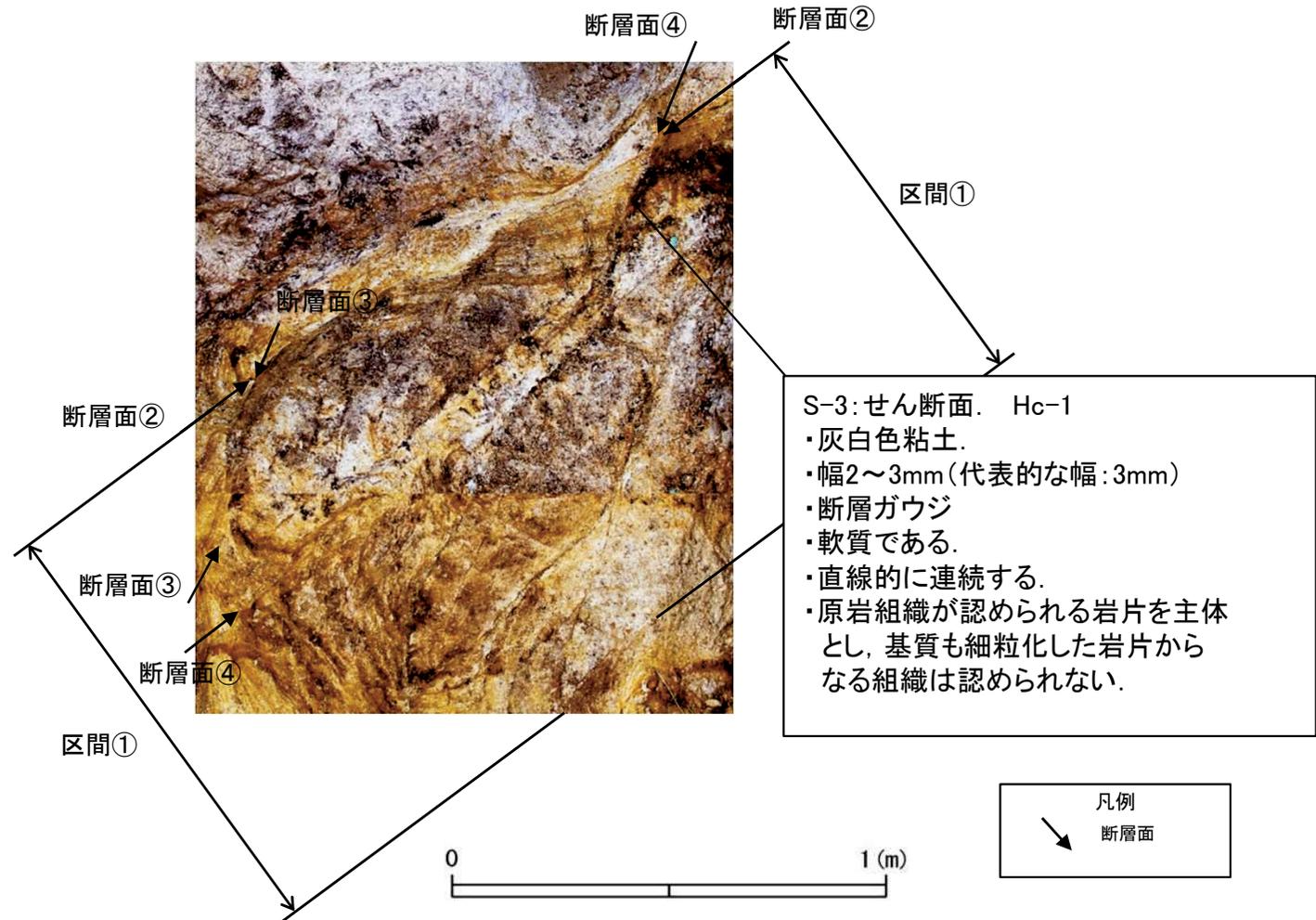
1-1ピット底盤写真

SSE←

→NNW



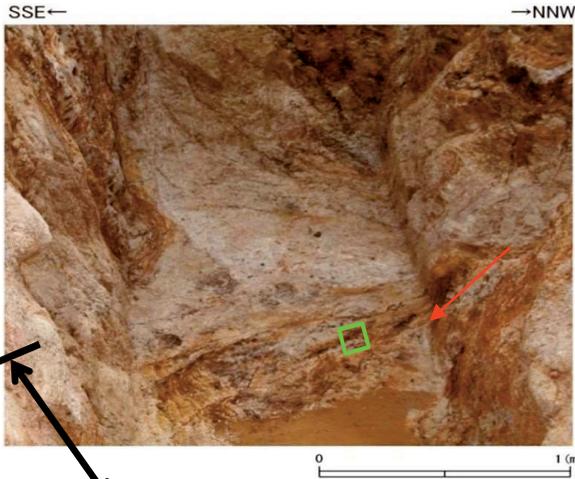
調査位置図



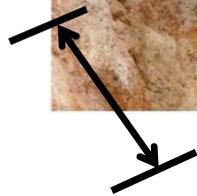
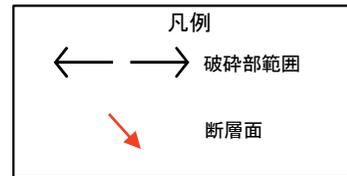
K断層 破碎部性状 D-1トレンチ1-1ピット底盤(薄片作製位置)

・薄片は断層面②及び細粒化が進んだ範囲を含むように作製した。

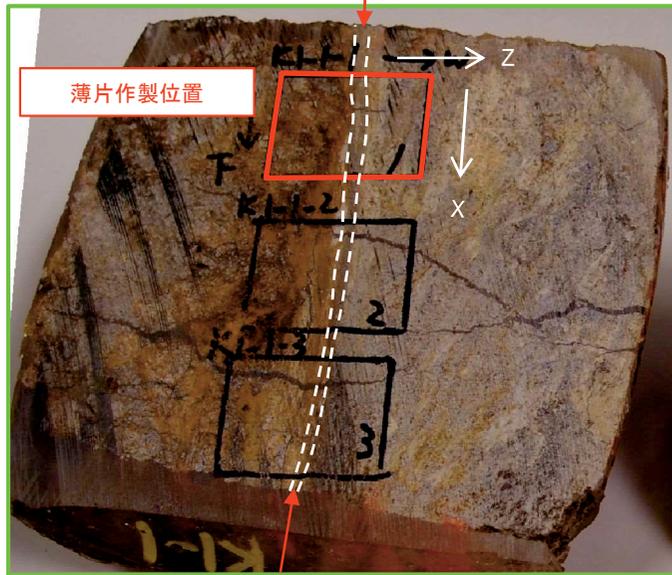
露頭写真



※断層面②は最新活動面



薄片作製位置写真



※試料切断面に対し、やや斜めから撮影している

薄片全景写真(単ニコル)



X:糸線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)

X:糸線方向(下向きを正とする) 断層面②
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)

